

ゆみコミ



発行: 2021年4月第5号

発行人: いのまた由美(太白区版)

〒982-0801

仙台市太白区八木山本町1丁目36-7

グランチェスタ八木山101

☎797-7748



12月 第4 回定例会

12月3日から18日まで開催され、計25議案の審査が行いました。一般会計補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策ほか計1億7,600万円の歳出が計上され、不用額2億8,300万円減額で、合計では1億700万円の減額補正となりました。ひとり親世帯臨時特別給付金も12月中に支給されることとなりました。

■コロナ禍において若年者・女性の自死が増加

いのまた由美は12月11日に一般質問を行いました。コロナ禍では、もともとあった格差や問題があらわになっています。年末年始の生活困窮者対応等とともに、急増している自死への対策として特にジェンダーという視点での対策も求められると質し、「大変に重く受け止めている。関係機関が適切な連携を図りながら、女性の就業自立や生活困窮者支援、子育て支援、DVや性暴力に関する相談事業など、各般の取り組みを総動員し、困難な状況ある方々の暮らしを支え、自死の防止に繋

げてまいりたい」と答弁がありました。この質問が、仙台市地下鉄の全駅トイレ114箇所への相談先チラシの掲示につながりました。

■戦災復興記念館の取組の継続を

音楽ホール整備と併せて、戦災復興記念館の在り方についても検討をしていくこととされましたが、取組の継続を求めました。

■日赤病院の周産期医療

1月 健康福祉委員会

■生活保護申請の「扶養照会」

扶養照会が生活保護の利用をためらう大きな原因になっていると全国的に指摘されています。運用改善を求めました。

2～3月 第1 回定例会

2月8日から3月12日まで開催され、新年度予算をはじめ計72件の議案審査を行いました。

令和3年度の一般会計予算は、対前年度比6.5%増の5,764億円となりました。市税はコロナ禍の影響で減収が見込まれており、新型コロナウイルス対策地方税減収補てん特別交付金56億円、財源不足分を財政調整基金から230億円、禁じ手とも言われる市債管理基金からの借入れ30億円で補てんするなど厳しい財政運営となりました。また、向こう3年間の財政見通しでは、1,033億円の収支差が見込まれ、一層の厳しさが想定されています。特別会計は3,134億円余、企業

会計は2,196億円で、総額は10年連続1兆円超えの1兆1,094億円となりました。

いのまた由美は予算等審査特別委員会に登壇しました。

■若年女性支援、困難を抱える女性支援

制度のはざまにある課題に取り組むために、厚生労働省、東京都、国立市のシェルターや中長期支援の事業をあげ、仙台市でも民間団体等の複数団体や関係機関のネットワークを強化して、実態把握やアウトリーチ手法の開発に繋げることを求めました。

■婦人保護事業、母子生活支援施設、困難を抱える妊婦や危機的妊娠の対応

「特定妊婦等が妊娠期から母子生活支援施設に入所して支援を受けることについて、施設側と課題の整理等を行っている」「妊娠等に関する相談事業」は受付時間を夜間帯とするとともに、若年者に身近なツールであるSNSも活用し、平日日中以外にも相談を受け、必要に応じて関係機関につないでいく」との答弁がありました。

■原子力災害対策

福島第一原発事故から10年が経ちますが、ふるさとやなりわいを奪われた方々がいらっしゃいます。本市が得た教訓、原子力防災についての平時や事故時の市民への情報提供や周知のあり方を質し、実効性が担保できていない避難計画に基づいた再稼働をするべきではないと訴えました。

市政運営及び新年度予算に関する会派要望を市長に10月7日に提出し、1月15日に回答がありました。条例等制定、県政との関連施策、新型コロナウイルス感染症対策を含む市政運営に関する要望32件と、新年度予算に関する要望について、全市に関する要望が53件、各区に関する要望が66件の計119件です。一部掲載します。

要望 新型コロナウイルス感染症対策

感染予防・感染防止および治療体制の確立を行い、とりわけエッセンシャルワーカー等へのPCR検査を拡充すること。

*

後遺症および合併症等についての万全の検査並びに治療体制の構築・提供を行い、財政面のサポートを講じること。

*

経営が困難となった中小零細企業等へのさらなる支援策を講じるとともに、適宜、各種支援策の周知徹底を図ること。

要望 公共交通が将来にわたり持続可能となるよう、必要な財政支援策を講じること。

予算化 公共交通運行支援

新型コロナウイルス感染症に対応した経済対策(第6弾)の一つとして、地域の生活や経済活動を支える移動サービスの提供が継続されるよう公共交通運行継続奨励金を支給いたします。

- ・保有バス1台あたり50万円
- ・タクシー1台あたり2万5千円

要望 水道・みやぎ型管理運営方式は中止を

宮城県が進めている上下水道事業の管理運営権の売却(コンセッション方式)については、水の安全、水道料金の観点から中止するよう求めること。

回答 水道事業へのコンセッション

方式の導入は我が国で初めてとなるため、水道水の安定供給、災害時等のリスク管理、事業費削減が確実に実施され、受水市町への安定給水や経営基盤強化に繋がる取組みとなるよう、受水市町合同で県に要望を行ってきたところであり、引き続き機会をとらえ県に働きかけを行って参りたい。

要望 会派予算要望 太白区関連(抜粋)

- 山田と太白団地への交差点や山田交番前付近の児童の通行の安全対策に努めること
- 市道上野山線の上野山一丁目付近の狭隘道路を改良すること
- 上野山小学校の校舎および体育館の全面改築を行うこと。金剛沢小学校の体育館、八木山中学校の体育館を早急に全面改築すること
- 長町八木山線の信号間隔、円滑走行対策、一部未開通部分の整備を促進すること
- 八木山香澄町・松波町付近の商店街の歩道・道路を改良し歩行者の安全に努めること
- 向山中央公園のトイレの改修、遊具の補修などを行い、より親しめる公園にすること
- 市道緑ヶ丘線の恵和町交差点への信号機設置に向けて、北東に伸びる道路の幅員を拡張すること
- 西多賀中学校の校庭から近隣住宅地に野球のボールが飛び出すことがあるため、早期に校庭のネットを高く補修するなどの対策を行うこと
- 西多賀小学校西側(正門側)の通学路は交通量も多く、非常に危険な状況にあるので、人命を重視して、事故が発生しないように改善を図ること。学校の敷地内の使用、人家側への道路拡張などを検討しながら市道の幅員を、通学路を十分に確保し安全対策を十分に行うこと
- 後田川の護岸工事の推進など災害対策を強化し、多自然型整備をすすめること。定期的な除草など河川管理、監視を継続すること
- 金剛沢三丁目と鉤取三丁目と金剛沢橋の五差路に信号を設置するなど安全対策を行うこと
- 茂庭台地区などを始めとする郊外部の除雪開始時間を早めるなど十分な対策をとること。歩道のない市道については、除雪を基本として進めること
- 放課後児童クラブ事業が実施されていない秋保小学校区で放課後に保護者が家庭にいない児童の健全育成の体制確保のため、地域住民との協議を進めること

予算化 新年度 太白区における主な事業(決定)

- ・ 八木山動物公園整備
- ・ 校舎増改築設計 (東長町小、四郎丸小、上野山小、長町中、富沢中)
- ・ 校舎増改築、プール増改築、給食調理場増改築 (四郎丸小)
- ・ 校庭整備 (四郎丸小)
- ・ 生出地区活性化
- ・ 秋保地区活性化
- ・ 秋保地区交流人口拡大推進
- ・ たいはく若者まちづくりフォーラム
- ・ 区民協働まちづくり
- ・ 市民センター大規模修繕 (東中田)
- ・ 地域生活関連整備
- ・ 特別養護老人ホーム建設費補助 (山田中学校区、生出中学校区)
- ・ 郡山遺跡整備
- ・ 鉄道駅周辺地区バリアフリー化等再整備 杜の都
- ・ 橋りょう震災対策 (仙台館腰線 (太白大橋) 等)
- ・ 道路施設における浸水対策
- ・ 農業施設における浸水対策
- ・ 都市計画街路整備 (郡山折立線 (郡山、大野田、青葉山))
- ・ 道路新設改良 (向山1号線、仙台山寺線 等)
- ・ 橋りょう整備 (富沢西幹線1号線 (熊野宮橋) 等)
- ・ 橋りょう維持補修 (286号 (鹿野公園前歩道橋)、加沢馬淵線 (芋生沢1号ボックス) 等)
- ・ 公園整備 (旗立緑地 等)



西多賀



「西多賀まちづくり推進委員会」の企画で、地域の児童生徒が、困難を克服した伊達政宗公が築いた「仙台城」の登城路に挑戦したと伺いました。1月、西多賀市民センターにて。

青山



青山第一町内会の皆様と擁壁の安全対策を求めています

後田川



2019年台風19号による被害の声を寄せいただいていた、後田川の災害復旧工事が2020年11月に完了しました

歴史



仙台藩志会の「伊達学塾」で歴史文化を学んでいます。1月は元仙台市博物館 市史編集室長で郷土史家の菅野正道さんの講座を受講しました。

八木山



みんなで苦難を乗り越え元気を分かち「八木山から元気を届ける会」を結成しました。シンガーソングライター垂KIRAさんの楽曲で元気は!

脱原発



2020年11月 福島第一原発周辺・浜通りを視察

放射能被害に県境はない。原発事故に向き合ってきた市民の活動の記録集「3.11みんなのきろく みやぎのきろく」岩沼のダオタオや、いのまたもお取り扱っています

仙台市議会議員 いのまた由美



事務所 〒982-0801
 仙台市太白区八木山本町1丁目36-7
 グランチェスタ八木山101
 TEL/FAX 022-797-7748



いのまた由美
 ホームページから
 Twitter
 Facebookにとべます

1978年北海道生まれ。東日本大震災ボランティアで仙台に来て、根をおろしました。仙台発の育児本「2歳児サバイバルライフ」共著など、乳幼児子育て支援の市民活動などに参加。赤ちゃんから高齢者まで、誰も一人にしない仙台をめざし、2015年仙台市議員に立候補、次点。2018年、仙台市医師会看護専門学校を卒業、准看護師取得。2019年8月仙台市議員に再チャレンジして初当選。会派は社民フォーラム仙台、所属政党は立憲民主党。健康福祉委員会、防災・減災調査特別委員会、広報委員会に所属。上野山小学校PTA副会長、2児の母。

衆議院議員の岡本あき子さんの地域懇談会に参加をして、ご意見を伺いました。国政・市政連携をして取り組みます。